

イトラコナゾールカプセル 50mg 「SW」

【この薬は？】

販売名	イトラコナゾールカプセル 50mg 「SW」 Itraconazole Capsules 50mg 「SW」
一般名	イトラコナゾール Itraconazole
含有量 (1カプセル中)	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、トリアゾール系経口抗真菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、真菌の細胞膜成分の合成に必要な酵素の作用を妨げることにより、真菌の増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

〈適応症〉

- ・ **内臓真菌症（深在性真菌症）**
真菌血症、呼吸器真菌症、消化器真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎
- ・ **深在性皮膚真菌症**
スポロトリコーシス、クロモミコーシス
- ・ **表在性皮膚真菌症（爪白癬以外）**
白癬：体部白癬、股部白癬、手白癬、足白癬、頭部白癬、ケルスス禿瘡、
白癬性毛瘡

カンジダ症：口腔カンジダ症、皮膚カンジダ症、爪カンジダ症、カンジダ性爪囲爪炎、カンジダ性毛瘡、慢性皮膚粘膜カンジダ症
癬風、マラセチア毛包炎

・ 爪白癬

〈適応菌種〉

皮膚糸状菌(トリコフィトン属、ミクロスポルム属、エピデルモフィトン属)、カンジダ属、マラセチア属、アスペルギルス属、クリプトコックス属、スポロトリックス属、ホンセカエ属

- ・ この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ ピモジド (オーラップ)、キニジン (硫酸キニジン)、ベプリジル (ベプリコール)、トリアゾラム (ハルシオン)、シンバスタチン (リポバス)、アゼルニジピン (カルブロック、レザルタス配合錠)、ニソルジピン (バイミカード)、エルゴタミン (クリアミン配合錠)、ジヒドロエルゴタミン (ジヒデルゴット)、エルゴメトリン (エルゴメトリンマレイン酸塩注)、メチルエルゴメトリン (メテルギン)、バルデナフィル (レビトラ)、エプレレノン (セララ)、ブロナンセリン (ロナセン)、シルデナフィル (レバチオ)、タダラフィル (アドシルカ)、アスナプレビル (スンベプラ、ジメンシー配合錠)、バニプレビル (バニヘップ)、スボレキサント (ベルソムラ)、イブルチニブ (イムブルビカ)、チカグレロル (ブリリンタ)、アリスキレン (ラジレス)、ダビガトラン (プラザキサ)、リバーロキサバン (イグザレルト)、リオシグアト (アデムパス) を使用している人
- ・ 過去にイトラコナゾールカプセル「SW」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・ 肝臓または腎臓に障害があり、コルヒチンを使用している人
- ・ 肝臓に重篤な障害がある人または過去に肝臓に重篤な障害があった人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 過去に薬剤で過敏な反応を経験したことがある人またはアレルギー反応の経験をしたことがある人
- ・ 肝臓に障害のある人
- ・ 腎臓に障害のある人
- ・ ワルファリンを使用している人
- ・ うっ血性心不全の人または過去にうっ血性心不全があった人
- ・ 高齢の人

○この薬には併用をしてはいけない薬(○次の人は、この薬を使用することはできません。を参照)や、注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

〔内臓真菌症（深在性真菌症）の場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、1回2～4カプセルを1日1回食直後に飲みます。

1日の最大使用量は4カプセルです。

ただし、イトラコナゾール注射剤からの切り替えの場合は、1回4カプセルを1日2回食直後に飲みます。

1日の最大使用量は8カプセルです。

〔深在性皮膚真菌症の場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、1回2～4カプセルを1日1回食直後に飲みます。

1日の最大使用量は4カプセルです。

〔表在性皮膚真菌症（爪白癬以外）の場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、1回1～2カプセルを1日1回食直後に飲みます。

ただし、爪カンジダ症及びカンジダ性爪囲爪炎（そういそうえん）の場合は1回2カプセルを1日1回食直後に飲みます。

1日の最大使用量は4カプセルです。

〔爪白癬（パルス療法）の場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、1回4カプセルを1日2回食直後に1週間飲み、その後3週間休薬します。これを1サイクルとし、3サイクル繰り返します。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

〔内臓真菌症（深在性真菌症）、深在性皮膚真菌症、表在性皮膚真菌症（爪白癬以外）の場合〕

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

〔爪白癬（パルス療法）の場合〕

決して2回分を一度に飲まないでください。

1回または1日分を飲み忘れた場合には、1回または1日後ろにずらして飲んでください。ただし、飲み忘れた日数によっては効果が低くなる可能性がありますので、医師に相談してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を長期間使用する場合には、肝機能障害があらわれることがありますので、定期的に肝機能検査が行われることがあります。
- ・うっ血性心不全をおこすおそれのある患者さんはこの薬の副作用について十分理解できるまで説明を受けてください。この薬を飲んで足のむくみや息苦しい

など体に異常が認められた場合はすぐに受診してください。

- ・この薬とワルファリンを併用すると、ワルファリンの作用が増強し、出血の危険性が高くなった症例が報告されています。この薬を飲み始める前に、ワルファリンを使用している人は、そのことを医師に伝えてください。ワルファリンと併用する場合は、出血のしやすさを確認するため、血液検査の回数が増やされることがあります。
- ・爪カンジダ症、カンジダ性爪囲爪炎のために6ヵ月程度この薬を飲んで、改善が認められない場合は、使用が中止されます。
- ・この薬は、一度変色した爪を回復させるものではありません。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

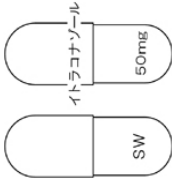
重大な副作用	主な自覚症状
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	からだがだるい、吐き気、動く時の息切れ、全身のむくみ、足のむくみ、息苦しい
肺水腫 はいすいしゅ	息切れ、息苦しい、吐き気、嘔吐（おうと）、横になるより座っている時に呼吸が楽になる
肝障害 かんしょうがい	かゆみ、吐き気、嘔吐、食欲不振、尿の色が濃くなる、からだがだるい、白目や皮膚が黄色くなる
胆汁うっ滞 たんじゅううったい	白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、かゆみ、皮膚が黄色くなる、褐色尿
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、からだがだるい、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、赤い発疹（ほっしん）、唇や口内のただれ、中央にむくみを伴った赤い斑点、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいろうほうしょう	からだがだるい、高熱、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、食欲不振
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	かさぶた、全身の発赤、発熱、皮膚がはがれ落ちる
多形紅斑 たけいこうはん	関節の痛み、発熱、発疹やみずぶくれができる
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー	じんましん、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、ほてり、判断力の低下、考えがまとまらない、意識の低下、ふらつき、からだがだるい
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい、ふらつき、全身のむくみ、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、高熱、冷や汗、関節の痛み
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、めまい、意識がうすれる
顔面	ほてり、血の気が引く
眼	まぶたや眼の充血、白目が黄色くなる、結膜のただれ、眼のまわりのはれ
口や喉	口唇のまわりのはれ、唇や口内のただれ、ひどい口内炎、しゃがれ声、吐き気、嘔吐、から咳
胸部	息苦しい、動悸、息切れ、動く時の息切れ、吐き気、横になるより座っている時に呼吸が楽になる
腹部	吐き気、食欲不振
手・足	足のむくみ、関節の痛み
皮膚	かさぶた、じんましん、皮膚が黄色くなる、中央にむくみを伴った赤い斑点、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、かゆみ、皮膚がはがれ落ちる、赤い発疹、全身の発赤、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、発疹やみずぶくれができる
尿	尿の色が濃くなる、褐色尿、尿が褐色になる
その他	判断力の低下、陰部の痛み

【この薬の形は？】

形状	硬カプセル剤 
長さ	17.8mm
重さ	229mg
色	淡黄色不透明

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	イトラコナゾール
添加物	クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ポリビニルアセタールジエチルアミノアセテート、カプセル本体に、三二酸化鉄、酸化チタン、ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：沢井製薬株式会社 (<http://www.sawai.co.jp>)

販売会社：日本ケミファ株式会社 (<http://www.chemiphar.co.jp>)

安全管理部 おくすり相談室

電話：0120-47-9321 03-3863-1225

FAX：03-3861-9567

受付時間：8時45分～17時30分

（土日、祝祭日及び弊社休業日を除く）